

7月例会

低次中心地の変化を考える

—階層性と機能の視点から—

関東支部と関西支部合同での開催です。

Zoomを利用したオンラインでの開催となります。

下記Googleフォームで申し込みいただき、ご参加ください。

https://docs.google.com/forms/d/1pT1qSp17ORFQLpDJPEehWyDiyoBjLB4upm9_dx1DvqI/edit

2021年7月1日(木) 17時締切

2021年7月3日(土) 開会 13時20分 閉会 17時

テーマ：低次中心地の変化を考える—階層性と機能の視点から—

発表者・演題：

- ・荒木俊之（ウエスコ）：低次中心地機能としての商業施設の立地変化
—近年の大都市と地方都市におけるコンビニの立地変化—
- ・三橋浩志（文部科学省）：教育圏における階層性の変化と地域的傾向
—低次中心地としての小学校を中心に—
- ・藤本典嗣（東洋大学）：東日本大震災・福島原発事故と曹洞宗寺院の級階変化

コメンテーター：

- ・須田昌弥（青山学院大学）
- ・松田隆典（滋賀大学）

問い合わせ先：長尾謙吉<E-mail: kanto(at)economicgeography.jp> (at)を@に変更ください。